

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	肺癌の転移リンパ節における免疫担当細胞の発現と術後再発の相関
	研究目的	がん細胞は増殖する一方で、体内で「異物」として認識され、免疫機構が働いている。原発巣のがん細胞周囲で見られる免疫担当細胞浸潤が腫瘍の増殖を抑制しているという報告も見られるが、肺癌の転移リンパ節においてどのような免疫機構が働いているかはよく分かっていない。本研究の目的は、当センターで2011～2015年に完全切除を施行した病理学的リンパ節転移陽性の非小細胞肺癌 20 症例を対象とし、肺癌の転移リンパ節における免疫機構の動きを各免疫担当細胞の発現頻度を解析することで調べ、分子病理学的特徴を明らかにすることである。
	研究期間	西 暦 2018 年 6 月 22 日 ～ 西 暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	鮫島 譲司
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし